

広報

EBETSU

えべつ

あなたとまちをつなぐ

目次

- 2 新庁舎の基本設計が完成しました
- 4 水害から身を守る
- 5 食べ物を大切にして 減らそう！夏場の生ごみ ほか
- 16 【健康×暮らしナビ】消費生活相談 Q&A ほか
- 18 【みんなのひろば】市民カレッジ ほか
- 19 2025 江別を食べよう！キャンペーン

2025

8

vol.1030



やきもののまち、
えべつ

第36回えべつやきもの市が開催され、道内から集まった約220の陶芸家が出店しました。地元の特産品なども販売され、やきものと江別を楽しめるイベントとなりました。

オープニングセレモニーでは、3年ぶりにれんがドミノが行われました。最後のドミノが倒れて火薬が爆ぜた瞬間、観衆からは大きな歓声が上がりました。(7月12日撮影)



※イメージ図

市では、昨年6月に策定した「本庁舎建設基本計画」に基づき、新庁舎建設工事の基礎となる基本設計書の作成を進めてきました。

このたび、新庁舎の配置や構造、必要な機能・設備など、設計に必要な項目に関して基本的な内容をまとめた「本庁舎建設基本設計」が完成しました。

〔詳細〕 庁舎建設推進担当 ☎ 398-9935

新庁舎の概要

所在地：向ヶ丘26番地の内（江別高校跡地）

構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造（免震構造）

階数：地上4階

延床面積：13,925㎡

現在、市内に分散している7つの庁舎（本庁舎、別館、第二別館、教育庁舎、錦町別館、土木事務所、環境事務所）を1カ所に集約することで、市民の利便性向上と市役所内部の連携強化を図ります。

原始林の太い幹を思わせる力強い外壁に、江別らしさを感じられるれんがと庇でアクセントを加えたデザインとします。

新庁舎の特徴

○市民が利用しやすい庁舎

現在分散している庁舎を集約し、1つの庁舎で各種手続きを完結できるようにします。また、窓口サービスのデジタル化により、待ち時間短縮と手続きの簡略化を図ります。

○ユニバーサルデザインに配慮した庁舎

出入り口の段差解消や思いやり駐車場を設置するほか、バリアフリースペースの各階設置やベビールーム、キッズスペースの確保など、誰もが利用しやすいデザインを導入します。

○環境に配慮した庁舎

自然採光やLED照明などによる省電力化や、外断熱工法、高断熱窓の採用による断熱性能の向上を図り、一次エネルギー消費量を50%以下に削減するZEB Ready認証の取得を目指します。

○災害に強い安全・安心な庁舎

大地震が発生した場合でも建物の被害を極力抑えることができる免震構造を採用します。また、非常用発電設備や備蓄庫などを備えた災害対策拠点機能としての充実を図ります。

スケジュール



概算事業費

区分	金額
建築工事費	114億9,000万円
外構整備費	11億4,000万円
解体工事費	7億2,000万円
その他経費	8億8,100万円
合計	142億3,100万円

水害から身を守る

近年、大雨などによる洪水や土砂災害が全国で多発しています。台風や集中豪雨などは、気象情報で予測できるからと油断せずに、日頃から準備や確認を行い、十分な対策を立てましょう。
 〔詳細〕 危機対策・防災担当 ☎ 381-1407

知っていますか？
 住んでいる地域の危険度

「防災あんしんマップ」は、自然災害発生時の被害予測による、地震での揺れやすさや洪水時の浸水想定区域、避難所となる施設などを地図上に表示したものです。

自宅や職場などの浸水・土砂災害のリスクを確認し、避難のタイミングや避難所を把握しておくほか、水や食料の備蓄など、災害への備えに役立ててください。

「防災あんしんマップ」は市HPやLINE公式アカウントでも確認することができます。

市HP ▼

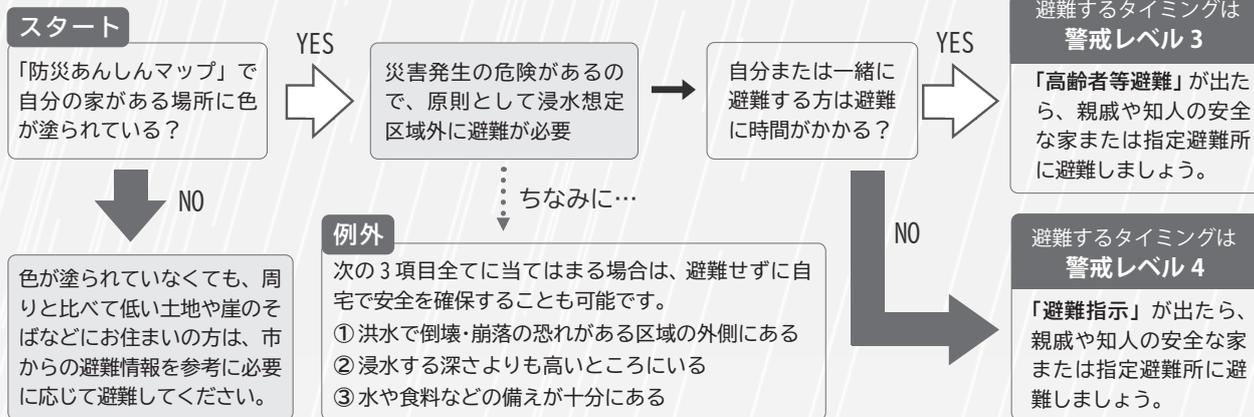


適切なタイミングで避難しましょう

大雨による洪水や土砂災害の恐れがある場合は、発生場所などに応じて、避難開始のタイミングを判断することが重要です。



避難行動判定フロー（洪水の恐れがある場合）



※江別市では、地震と洪水とは開設する指定避難所の基準が異なります。洪水時は地域によって避難先の目安があります。防災あんしんマップの「避難所等について知ろう」の「洪水時の避難所（地域別目安）」をご覧ください

確認しましょう 避難するときのポイント

① 長靴は水が入ると重くなるので、運動靴を履く



② 長い棒をつえ代わりにして、安全を確かめながら歩く



③ 川や用水路のそばを通らない



④ 地下道は通らない。もし通って車が水没した場合は速やかに脱出する



⑤ 逃げ遅れた場合は高い場所で救助を待つ



⑥ 地下は冠水しやすいので早めに地上に避難する



食べ物を大切に 減らそう！夏場の生ごみ

【詳細】 廃棄物対策課 ☎ 383-4211



食材は無駄なく使おう

日本全国の食品ロス量は令和5年度で年間464万トンと推計されています。1日一人当たりになると102グラムで、茶わん約1杯分のごはんに相当します。※出典 農林水産省 HP 報道発表資料

特に多く捨てられているのは野菜です。野菜はゆでるなど、ひと手間を加えることで長持ちさせることができます。

生ごみ堆肥化容器の購入助成

生ごみ堆肥を家庭菜園に利用することも有効なごみ減量対策の一つです。市では、堆肥化容器の購入に最大1,000円を助成しています。 [詳細▶▶](#)



「てまえどり」で食品ロスを減らそう

「てまえどり」とは、購入してすぐに食べる場合に、商品棚の手前にある賞味・消費期限が近い商品を積極的に選ぶことです。お店で廃棄される食品ロスを減らすことができます。



「びん」の出し方に注意しましょう [【詳細】 廃棄物対策課 ☎ 383-4211](#)

集団資源回収で「びん」としてリサイクルできないものが混入しています。正しい分別にご協力をお願いします。

【例】「びん」回収時に出してはいけないもの ※以下のものは原則「燃やせないごみ」



ガラス製の食器



※1 びんのふた（金属）



哺乳びん



※2 異物が入ったびん



花びん

※1 プラスチック製のふたは「燃やせるごみ」です

※2 中の異物は「ごみ」として捨てましょう。異物を取り除いたびんは集団資源回収に出せません

道民カレッジ・えべつ市民カレッジ対象講座 えべつ市民環境講座

海から見た地球環境やエゾシカの生態、エコドライブなど幅広い観点から身近な環境について考える講座です。1講座のみの受講も可能です。【詳細】 環境課 ☎ 381-1019

	日時・場所	テーマ（内容）	講師	受講料	定員	申込方法
第1回	8/28(木) 14:00~15:30 野幌公民館	科学が解き明かす海からのメッセージ ～地球の未来を守るために～ 地球温暖化が海に与える影響と、海の環境変化が温暖化を加速させる仕組みなどをお伝えします。	酪農学園大学 よしだ おさむ 教授	無料	先着 40名	8/7(木)から各開講日の前日までに環境課へ電話(☎381-1019)で申し込み 第2回のみ9/2(火)までに申し込み
第2回	9/9(火) 10:00~15:30 市内	名木百選ウォッチング 市内にある名木を巡るバスツアーです。江別駅前公園のプラタナスなどを見学します。当日は、歩きやすい靴と服装、昼食、敷物、飲み物、雨具をご用意ください。	北海道大学 おほら まさし 名誉教授	1,500円 (バス・資料代、当日徴収)	先着 40名	
第3回	9/18(木) 14:00~15:30 野幌公民館	エゾシカと向き合う！～命の資源と未来を考える～ 近年大きく数を増やしたエゾシカの生態や歴史、私たちとの関わりについて学び、命の尊さなどを考えます。	北海道環境生活部自然環境局 野生動物対策課 エゾシカ対策係 まつばし れん 松橋 廉 さん	無料	先着30名 ※小学4年生以上推奨	
第4回	10/1(水) 14:00~15:30 野幌公民館	エコドライブ講習会 エコを意識した運転方法をお伝えします。燃費向上で地球にもお財布にも優しいドライブをしませんか。	(一社)日本自動車連盟(JAF) 札幌支部 事業課交通環境係 あんどう じゅんいち 安藤 純一 さん	無料	先着 40名	